

前回定例会以降の動き

刈羽村総務課

1 原子力災害を想定した学校等における児童の保護者への引き渡し訓練【9月6日】

新潟県原子力防災訓練の個別訓練として、地震に伴い柏崎刈羽原子力発電所において原子力災害が発生した場合を想定し、児童の保護者への引き渡し訓練を実施しました。

- ・ 訓練会場 刈羽小学校
- ・ 訓練日時 9月6日（金）13：50～16：15
- ・ 参加者 児童210名、教職員23名、他関係機関職員等
- ・ 訓練概要 ①学校等への情報伝達（県・村・村教育委員会・学校）
②学校から保護者への児童の迎え要請
③保護者への児童の引き渡し
④保護者への引き渡しができなかった児童のバスによる避難、一時移転



窓の施錠確認



児童の人数報告



受付



教職員同乗によるバス避難

職員アンケート結果(一部抜粋)

- ・引き渡し方法について職員間で共通理解が図られていたことがスムーズな引き渡しの実施につながったと思う。
- ・緊張感を持って訓練できたが、有事の際には想定外なことが起こるため、柔軟に動けるよう準備しておきたい。
- ・今回学年別で並んだが、地区別に並んだ方が早いという意見もあった。実際にやってみて地区別の方が早くなりそうな理由は見つけられなかったが、より早く行動するための体制づくりについて知りたい。
- ・原子力災害が発生するほどの地震では、学校の電源が使用できなくなる可能性がある。放送が使えない設定の訓練が必要。

2 安全協定に基づく状況確認【9月10日】

新潟県・柏崎市とともに以下について状況確認を実施しました。

(主な確認内容)

- ・7号機 全体工程について
健全性確認作業のうち、④格納容器点検、⑤主タービン起動、⑥発電機仮並列、⑦発電機本並列について操作手順や作業の目的について説明を受けました。
- ・使用済燃料の輸送作業およびキャスクの概要について
概要説明を受けるとともに、キャスク保管建屋の現場確認を行いました。

3 第18回柏崎刈羽地域原子力防災協議会作業部会【9月13日】

以下について議論を行いました。

- ・柏崎刈羽地域の緊急時対応(案)の進捗状況等について

以上